

$$2.64 \quad u_0 = \frac{P_A - P_B}{\sqrt{P_D(\frac{1}{n_A} + \frac{1}{n_B})}}$$

$$1.82 \quad M_0 = \frac{\bar{c} - \lambda_0}{\sqrt{n}}$$

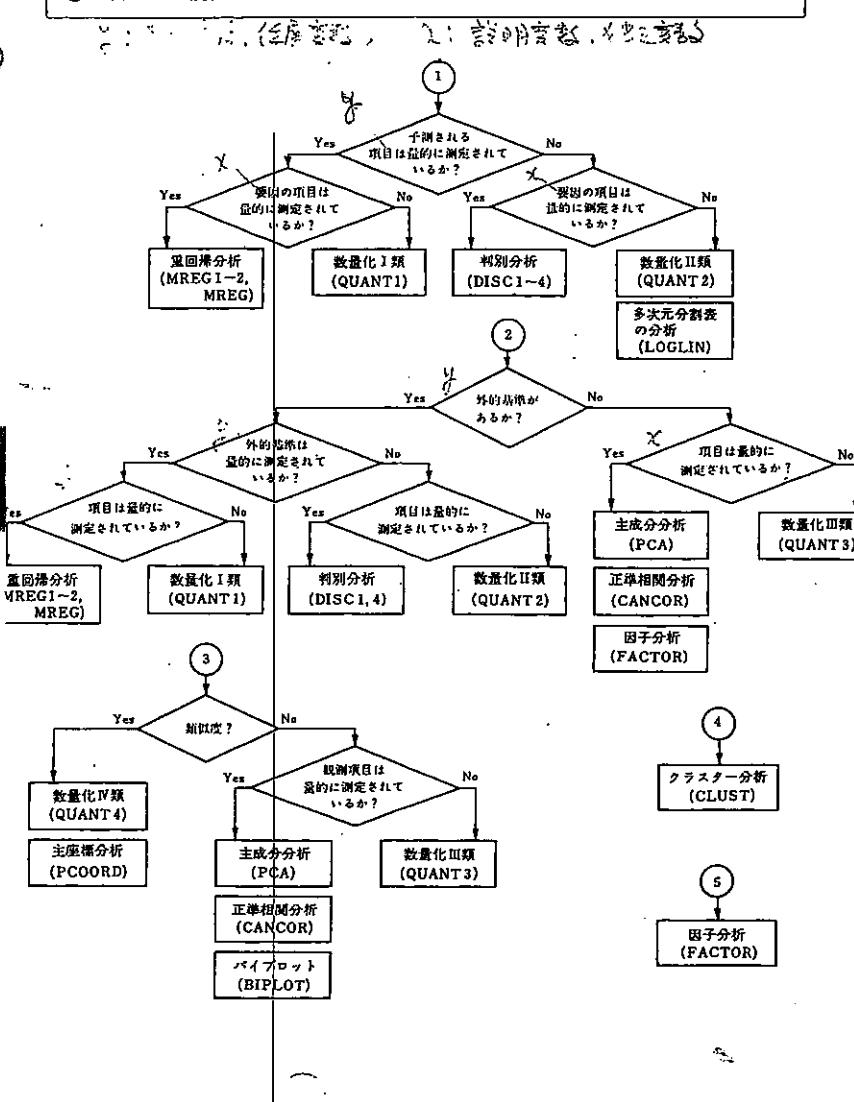
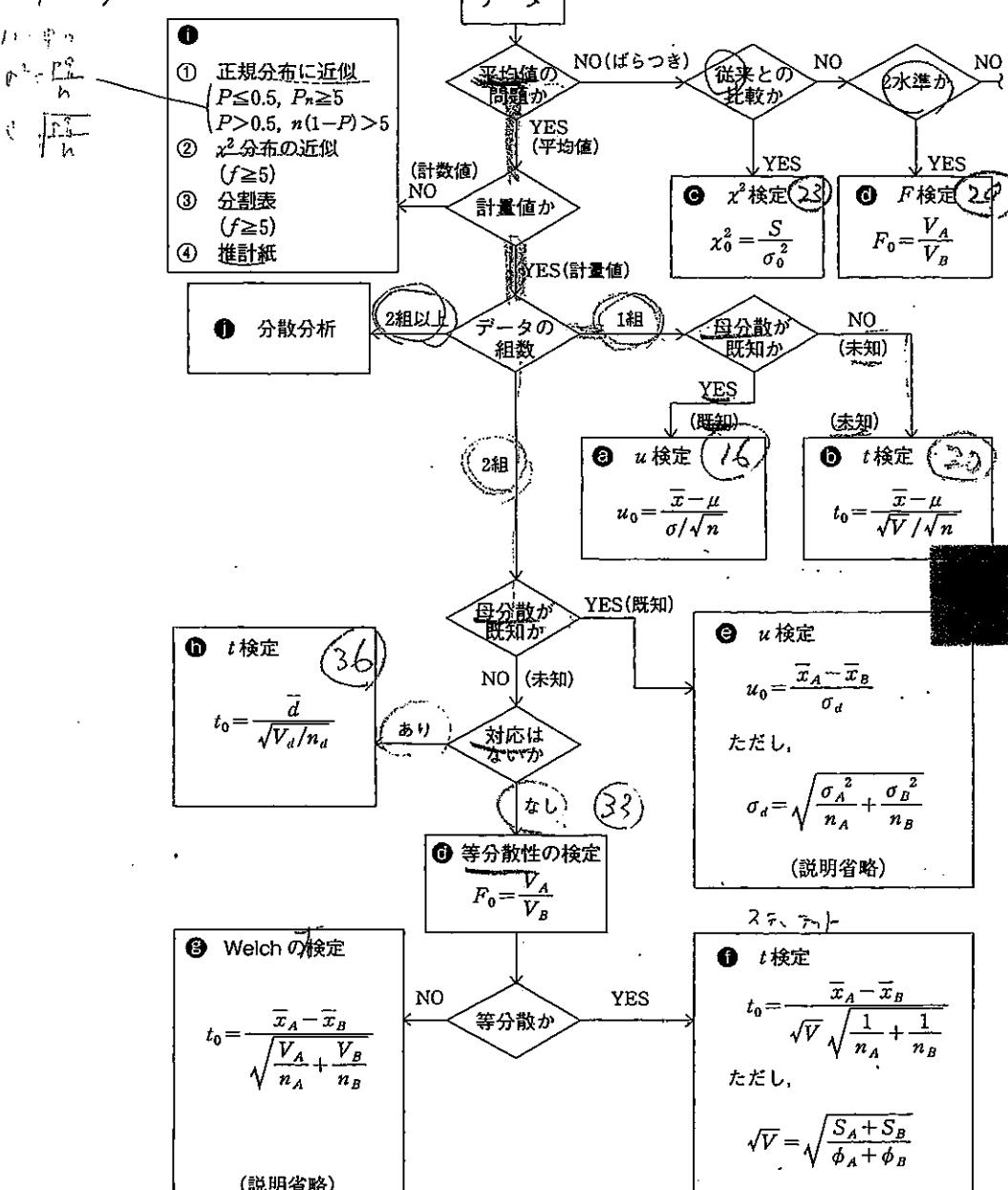
$$2.52 \quad M_0 = \frac{\bar{c}_A - \bar{c}_B}{\sqrt{c(\frac{1}{n_A} + \frac{1}{n_B})}}$$

$$\sigma^2 = \lambda_0, \sigma = \sqrt{\lambda_0}$$

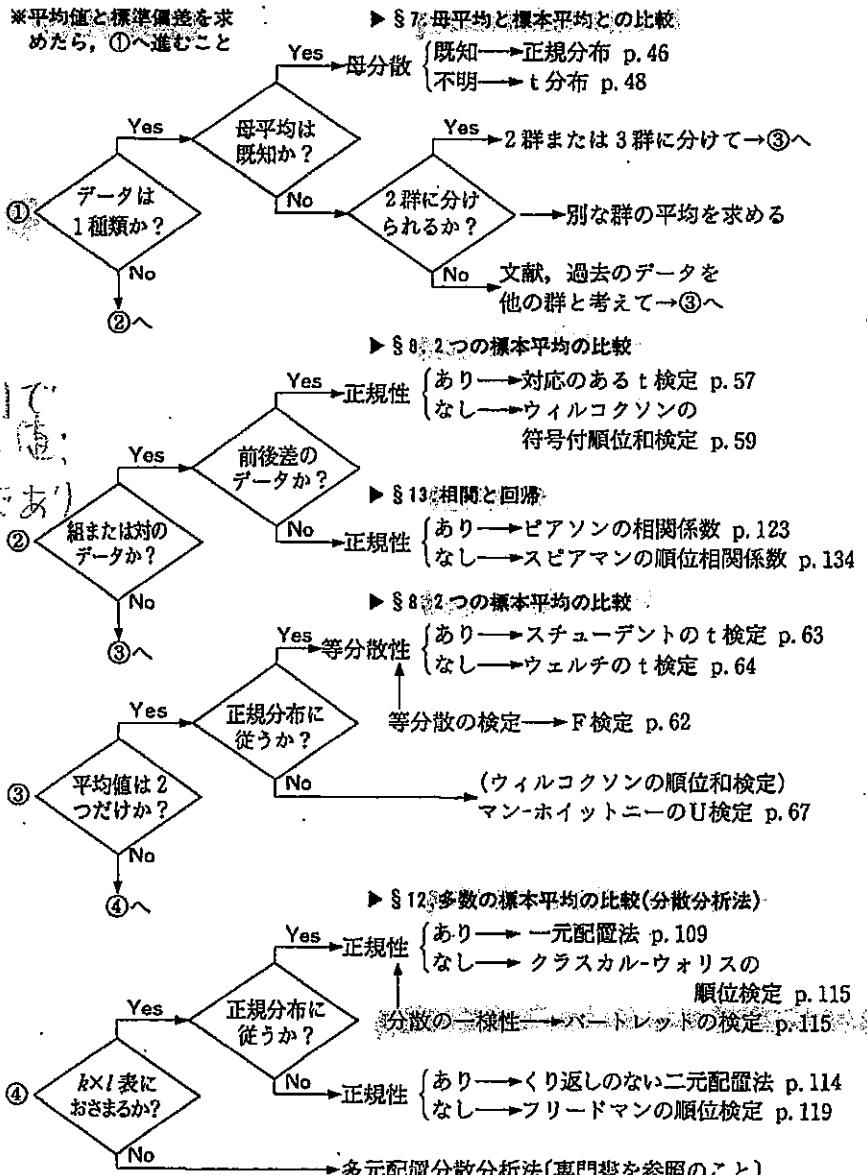
多変量解析法の選択の手引き

解析の目的

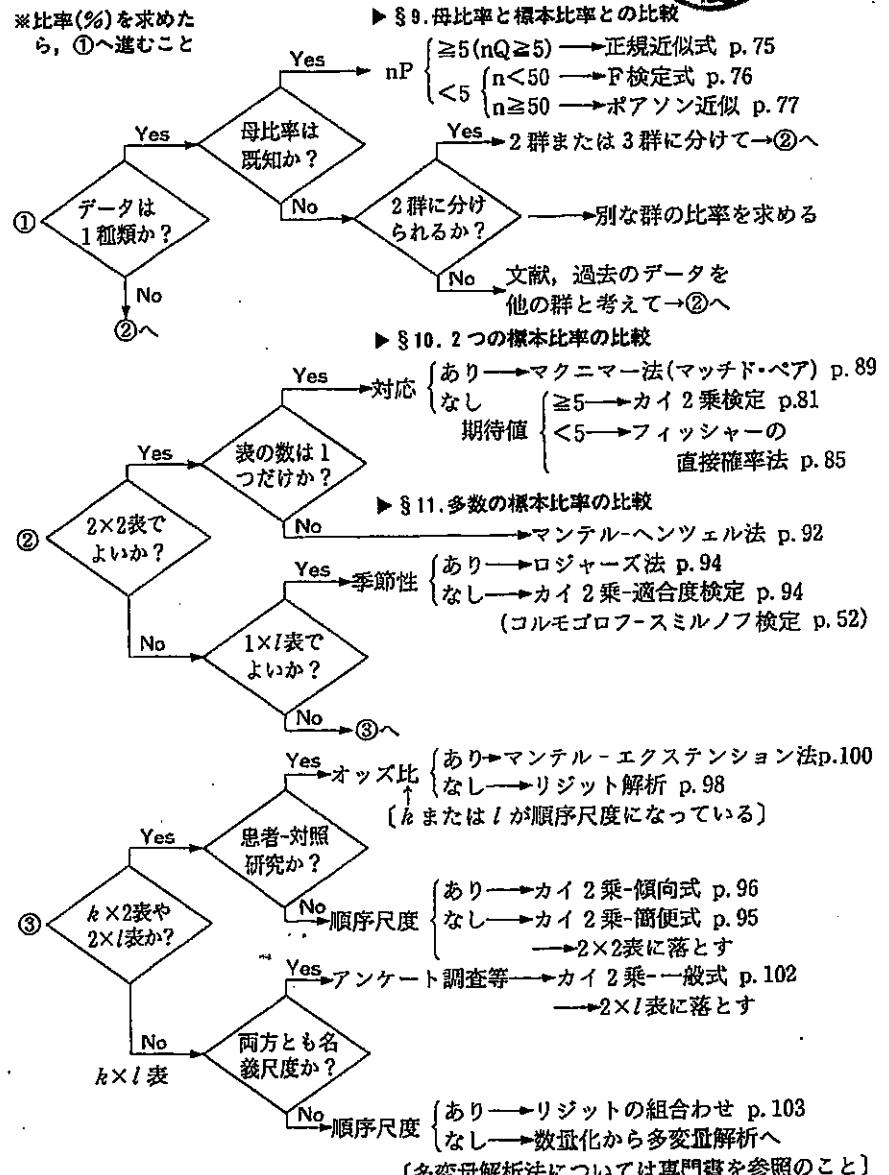
- ① いろいろの要因によって、ある項目を予測（説明）したい。
- ② 観測されている複数個の項目を代表する総合的指標を求めたい。
- ③ ものや項目の間の関係を視覚的にとらえ、それにもとづいて分類をしたい。
- ④ ものや項目の似たもの同志をまとめるように分類したい。
- ⑤ 項目間の複雑な相関関係を説明する潜在的構造を知りたい。



【質的データの検定方法】



【質的データの検定方法】



(多変量解析法については専門書を参照のこと)